
両替販売機

GEX32C

取扱説明書

第7版:2023年3月31日



東亜電子工業株式会社

(本仕様は改良のため予告なく変更することがあります。)

-目次-

安全上のご注意	3
1 はじめに	7
2 各部の名称	7
2-1 全体図	7
2-2 内部図	8
2-3 寸法図	9
3 設置	10
3-1 付属品	10
3-2 設置方法	11
3-3 商品制限金具	12
3-4 70mm 対応商品アダプターの取り付け	13
3-5 警報装置、防盜部材	16
3-6 外部パルス入力、警報装置出力	20
3-7 外部通信	20
4 初期設定	21
5 両替動作	22
6 販売動作	22
7 返却動作	22
8 その他動作	23
8-1 外部パルス	23
8-2 警報装置	25
9 モード	26
9-1 通常モード	26
9-2 メンテナンスモード	27
10 日常のお手入れ	34
10-1 紙幣回収	34
10-2 紙幣識別機の清掃	35
10-3 警報装置スイッチ用電池交換	37
10-4 硬貨の回収方法	38
10-5 商品の送り出し確認	39
11 エラー	40
12 製品仕様	43
13 保証規定	45

安全上のご注意

－かならずお守りください－

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたい事を、次のように説明しています。

- 表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示を見逃して、誤った取扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を見逃して、誤った取扱いをすると人が損傷を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。



記号は注意を促す表示です。



記号はしてはいけない「禁止」表示で、記号内に具体的な注意内容図が描かれています。

左図は「分解禁止」指示です。



記号は必ず実行していただきたい表示で、記号内に具体的な指示図が描かれています。

左図は「電源プラグを抜く」指示です。

警告



AC100V 以外禁止

指定の電源電圧(AC100V)以外で使用しないでください。
故障や感電、発熱、火災の原因になります。



禁止

直射日光の当たる場所や、冷暖房器具の近くで著しく温度が変化する場所には取り付けないでください。
故障や感電、発熱、火災の原因になります。



禁止

本機の上に花びん、植木鉢、水の入ったコップなどを置かないでください。
水がこぼれて中に入った場合、感電、発熱、火災の原因になります。



濡れ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の恐れがあります。



電源プラグを抜く

本機の内部に異物や水などが入ったり、本機を落としたりしたらすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして販売会社にご連絡ください。

そのまま使用すると火災、感電の危険があります。



電源プラグを抜く

故障や発煙、変な臭い、音がした状態で、そのまま使用すると火災、感電の危険があります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

そして販売会社にご連絡ください。



確認

電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全ですと感電や、発熱による火災の原因となります。



専門業者へ

電気工事は、必ず電気工事登録業者に依頼してください。
ご自分で配線工事をされ不備があると、漏電や火災の原因になります。



アース線接続

アース工事は、電気設備基準など関連する法令、規則などに従って必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行ってください。



分解禁止

本機を分解しないでください。
内部に高電圧部分があり、感電の恐れがあります。



接触禁止

雷が鳴り出したら電源プラグには触れないでください。
感電の危険があります。



禁止

電源コードや接続ケーブルを破損するようなことはしないでください。
ショート、断線により火災、感電の危険があります。

注意



取り外し確認

移動させる場合は接続ケーブルなどをはずしてください。
ケーブルや本機が損傷し火災、感電の原因となります。



禁止

腐食性ガスの存在する場所に設置し、使用しないでください。
また、埃や空気中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄など)が含まれている環境へも設置しないでください。



禁止

埃や湿気、油煙、湯気が当たるところには取り付けしないでください。
絶縁が低下し、感電や発熱、火災の原因になります。



禁止

本機の上に重い物を置かないでください。
転倒、落下などが怪我の原因になります。



電源プラグを抜く

長時間ご使用にならない時は電源プラグをコンセントから抜いてください。



禁止

電源プラグをコンセントから抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。
コードが断線、ショートし、火災、感電の原因となることがあります。



禁止

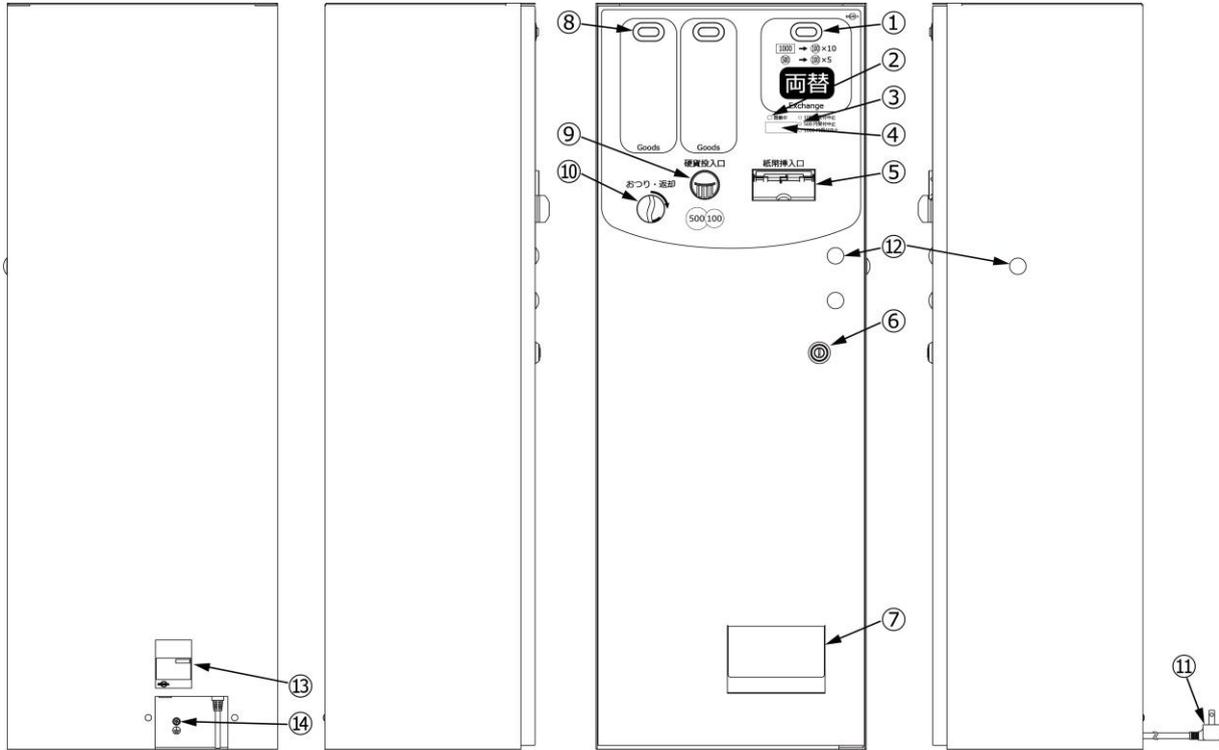
電源が入っている状態で、内部の配線を引き抜かないでください。
故障の原因になります。

1 はじめに

GEX32C は 500 円硬貨、1000 円紙幣を 100 円硬貨に両替する機能を持ち、指定された箱状の商品を販売する両替販売機です。

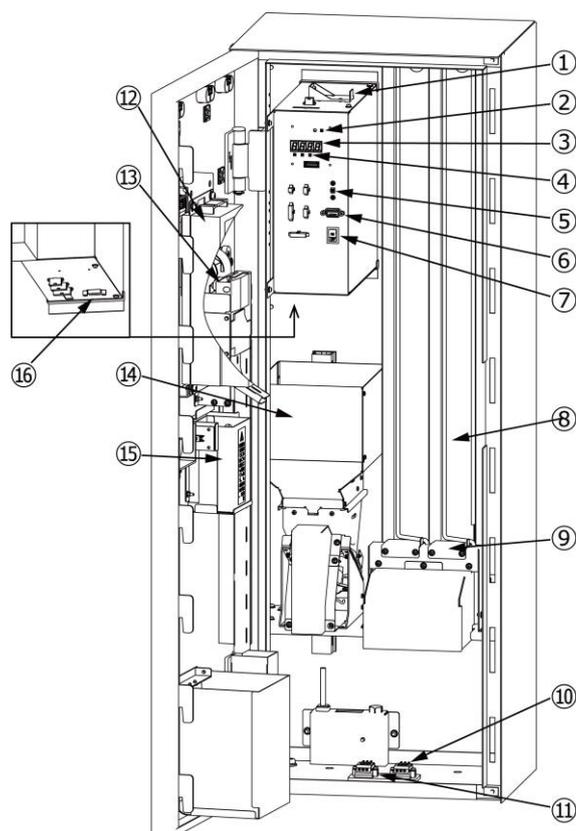
2 各部の名称

2-1 全体図



名称	機能	名称	機能
① 両替ボタン	入金された 500 円硬貨、1000 円紙幣を両替します。	⑧ 販売ボタン(1,2)	入金後に商品(1,2)を販売します。右側が商品 1、左側が商品 2 を販売します。
② 営業中ランプ	入金が可能な状態であれば点灯します。	⑨ 硬貨投入口	100 円硬貨、500 円硬貨を投入できます。
③ 入金禁止ランプ	各金種が入金禁止の場合に点灯します。	⑩ 返却レバー	入金された金額分の金銭を返却します。また、詰まった硬貨を返却します。
④ 4桁数値表示器(外部)	入金金額、エラーなどを表示します。	⑪ 電源プラグ	本機の電源供給用です。(AC100V用)
⑤ 紙幣挿入口	1000 円紙幣を裏表 4 方向で挿入できます。	⑫ 防盜部材取り付け穴	防盜部材(別売)を取り付ける場合に使用します。
⑥ 扉錠	前面扉を開閉するための錠前です。	⑬ 定格銘板	製品の型式、製造No、電気定格などを記載しています。
⑦ 商品取り出し口	販売した商品を取り出します。また、両替、返却された硬貨が出てきます。	⑭ アース端子	アース線の接続部です。

2-2 内部図

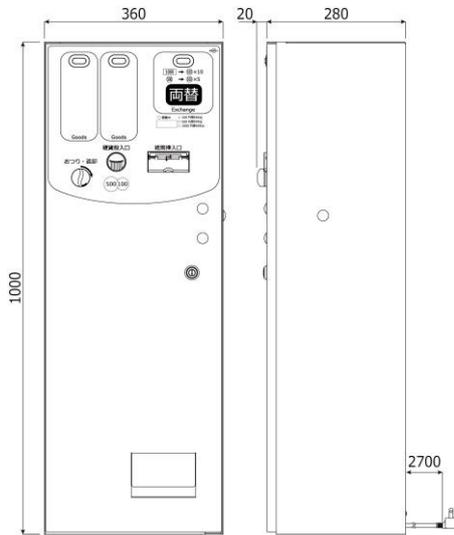


	名称	機能		名称	機能
①	電池ボックス	警報装置(別売)を有効にするスイッチの電池を取り付けます。	⑨	商品制限金具	販売する商品によって取り替えます。出荷時は商品制限金具(大)が取り付けられています。
②	電池残量チェックスイッチ	警報装置スイッチ用電池の残量をチェックします。	⑩	外部パルス入力端子台	外部パルス入力電線を接続します。左から A 接点、B 接点、COM となります。
③	4桁数値表示器(内部)	メンテナンスモードで各種設定値を表示します。	⑪	警報装置出力端子台	警報装置(別売)の電線を接続します。左から A 接点、B 接点、COM となります。
④	設定スイッチ	各種設定などに使用します。左から MODE スイッチ、UP スイッチ、SET スイッチとなります。	⑫	紙幣識別機	紙幣を取り込み、収納します。
⑤	警報装置スイッチ	警報装置(別売)を有効/無効にします。上側で有効、下側で無効になります。	⑬	硬貨選別機	入金された硬貨を選別します。
⑥	プリンター用コネクタ	プリンター(別売)を D-sub コネクタ(9 ピン)で接続します。	⑭	硬貨払い出し機	100 円硬貨を払い出します。また、入金された 100 円硬貨が収納されます。
⑦	電源スイッチ	本機の電源を ON/OFF します。	⑮	硬貨収納箱	入金された 500 円硬貨の収納部です。
⑧	商品収納部	販売する商品の収納部です。右側に商品 1、左側に商品 2 を収納します。内部に 70mm 対応商品アダプターが取り付けられています。	⑯	外部通信用コネクタ	外部機器と通信を行う場合に D-sub コネクタ(9 ピン)で接続します。

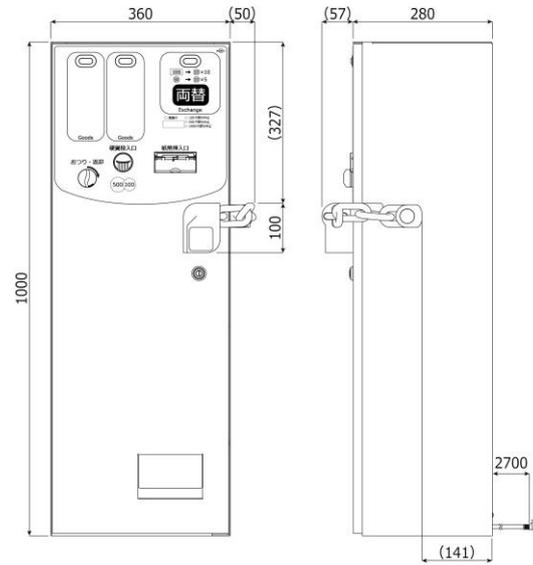
2-3 寸法図

(単位:mm)

●本体(防盜部材なし)



●本体(防盜部材あり)^{※1}

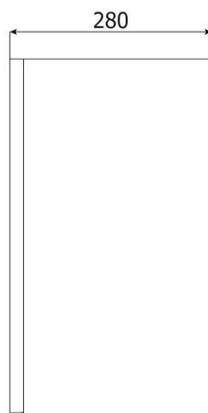
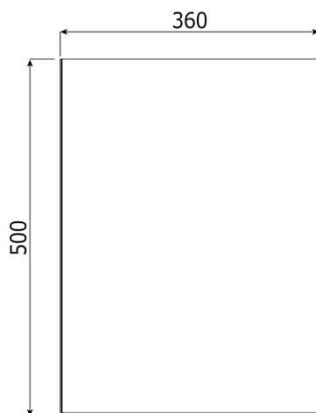
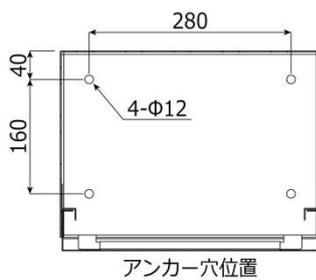


^{※1} 適合品以外の防盜部材を取り付けた場合は寸法が異なります。

適合品

- ・株式会社多奈川商店製 13シリーズ(合金)右鍵用 0221(46-5[32cm])

●架台



3 設置

本機の設置作業は必ず 2 人以上で行ってください。

3-1 付属品

下記の付属品が同梱されている事を確認してください。

●本体

- ・扉錠用鍵 ×2
- ・警報装置スイッチ用電池 ×1
- ・商品制限金具(小) ×2
- ・商品説明シール ×1

●架台

- ・本体固定用ネジ(M8×15 P3 アプセット) ×4
- ・アンカーボルト(M10×60 C-1060) ×4
- ・架台扉固定用ネジ(M4×12 P3) ×2

3-2 設置方法

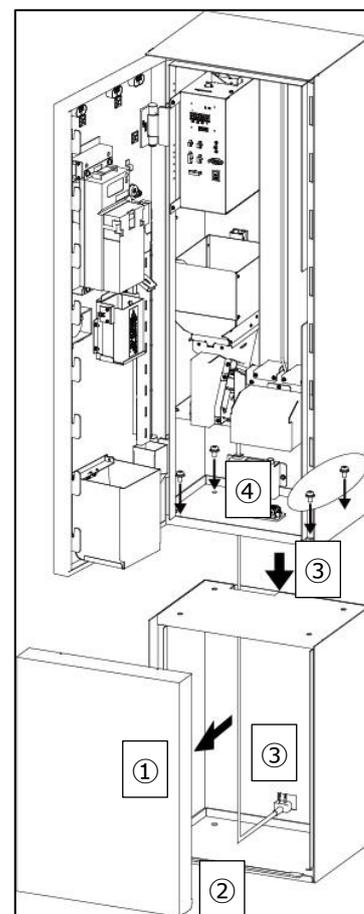
① 架台扉を取り外します。

※上に持ち上げてから手前に引き出すと取り外せます。

② アンカーボルトを使用して、架台を 4 ヶ所固定してください。

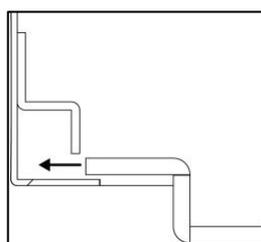
③ 架台に本体を載せ、電源プラグを架台上部の穴から架台背面に通します。

④ 本体の扉を開け、本体固定用ネジで本体を 4 ヶ所固定してください。

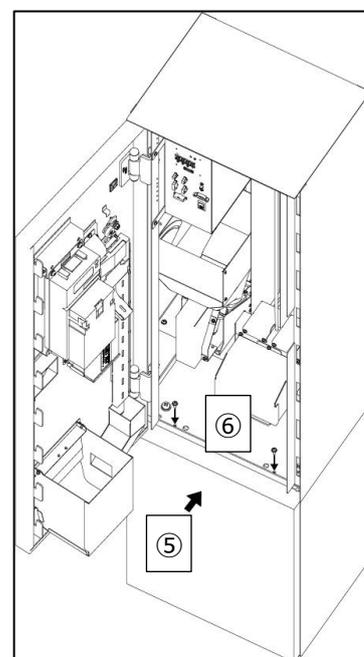


⑤ 架台扉を取り付けてください。

※下図のように、架台の下部にある出っ張り部分を架台扉の下部にある隙間に差し込んでください。



⑥ 架台扉固定用ネジで架台扉を 2 ヶ所固定してください。



これで、本体の設置は完了です。

※架台は必ずアンカーボルトで固定してください。

※アース線は必ず接続してください。

※電気工事およびアース(接地)工事は、必ず電気工事士により工事を行ってください。

※アース(接地)工事はD種(第3種)設置工事(接地抵抗値 100Ω以下)を行ってください。

※アース線はガス管や水道管、電話機用のアース線には絶対に設置しないでください。

3-3 商品制限金具

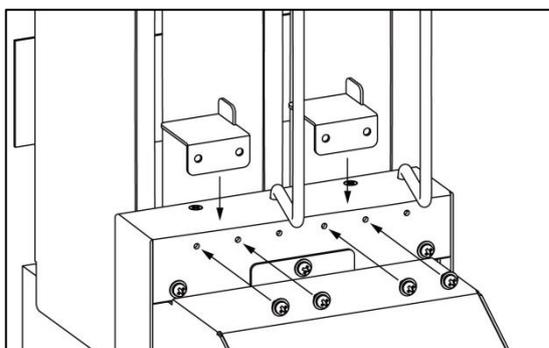
- 下記の表を参照し、販売する商品に対応した商品制限金具を取り付けてください。
- 商品制限金具を取り換える場合は、取り付けてあるネジをそのまま使用してください。
- 下記の取り付け図を参照し、商品制限金具(小)は左側のネジ穴に寄せ、商品制限金具(大)は両側のネジ穴に取り付けてください。

商品制限金具対応表

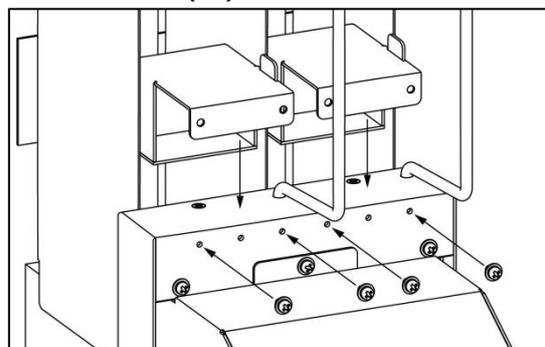
商品タイプ	商品サイズ	商品制限金具	70mm 対応商品アダプター
Aタイプ	55×23×102(mm)	商品制限金具(小)	取り外し
Bタイプ	50×17×70(mm)	商品制限金具(大)	取り付け(出荷状態)
Cタイプ	55×32×102(mm)	商品制限金具(小)	取り外し

取り付け図

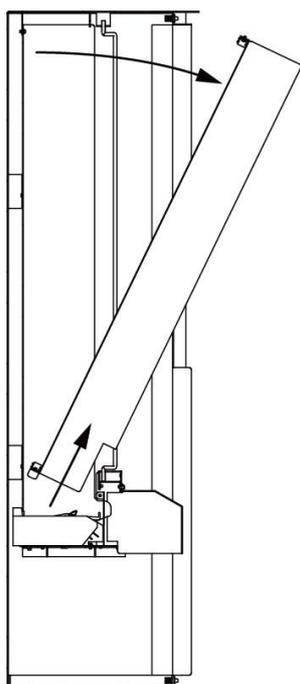
- ・ 商品制限金具(小)



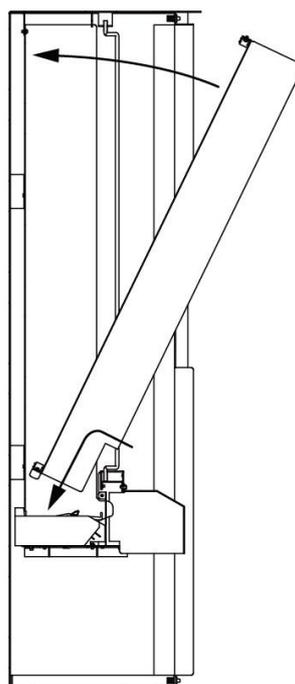
- ・ 商品制限金具(大)



- ・ 70mm 対応商品アダプター取り外し



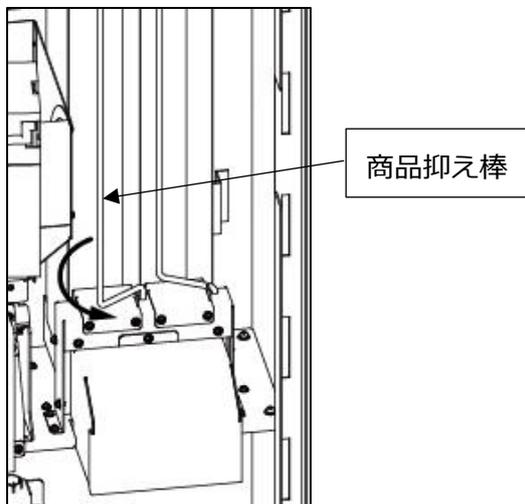
- ・ 70mm 対応商品アダプター取り付け



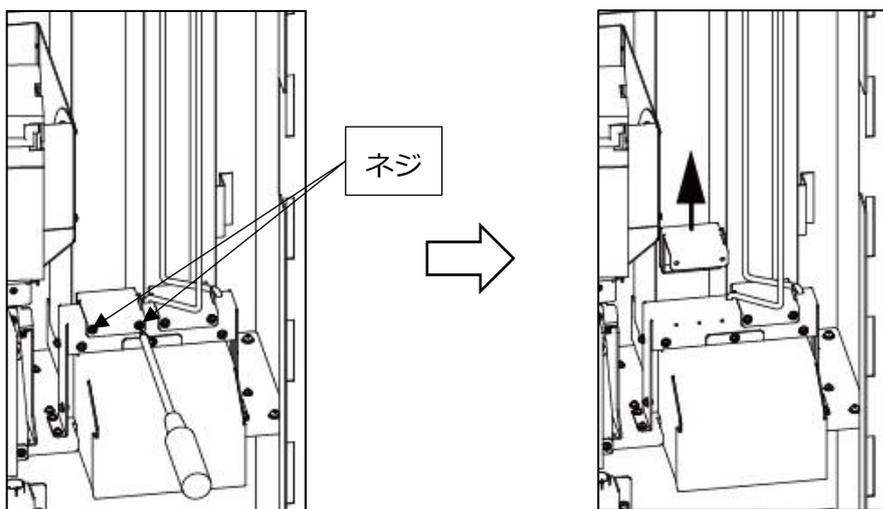
3-4 70mm 対応商品アダプターの取り付け

70mm 対応商品アダプターを再度取り付ける場合は、下記の手順に従って取り付けてください。

- ①商品収納部にある商品抑え棒を、軽く持ち上げてから手前に回し、外側へ回転させます。



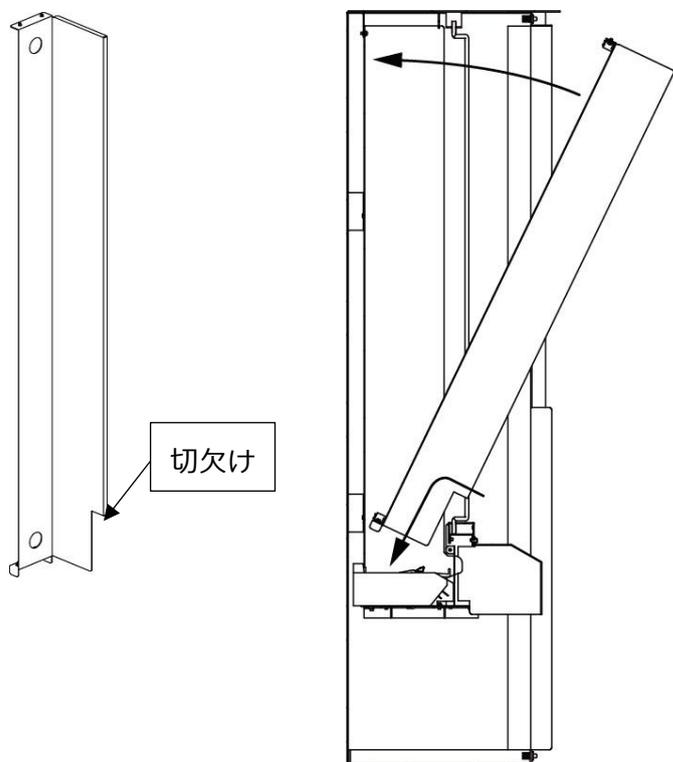
- ②ネジを2ヶ所取り外し、既存の商品制限金具を取り外します。



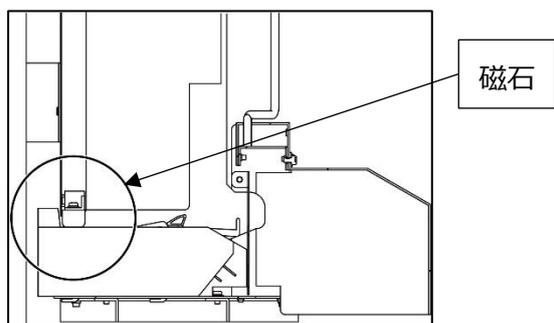
※取り外したネジは、紛失しないようにしてください。

③70mm 対応商品アダプターを取り付けます。

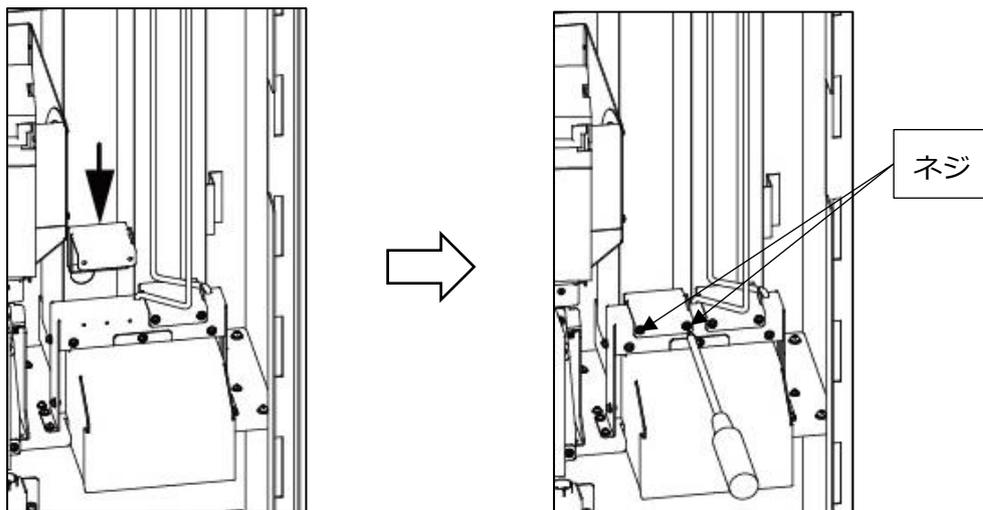
70mm 対応商品アダプターの切欠け部分を下側の手前にして、商品収納部の下側に差し込みます。
続けて 70mm 対応商品アダプター全体を商品収納部にはめ込みます。



※70mm 対応商品アダプターの裏に磁石がついているので、商品収納部に固定されます。

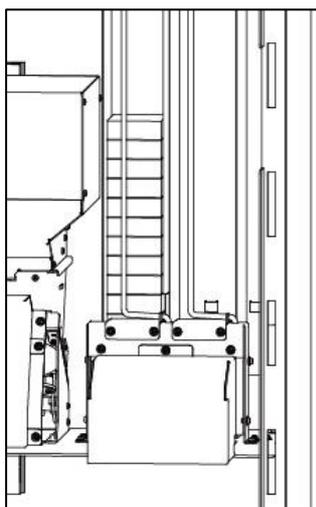


④商品制限金具(大)を取り付け、ネジで2ヶ所固定します。



※固定するネジは、②で取り外したネジを使用してください。

⑤商品を入れて、正常に払い出しができる事を確認してください。



⑥必要な場合は、上記の①～⑤を参照して、反対側の商品収納部に70mm対応商品アダプターを取り付けてください。

これで70mm対応商品アダプターの取り付けは完了です。

3-5 警報装置、防盜部材

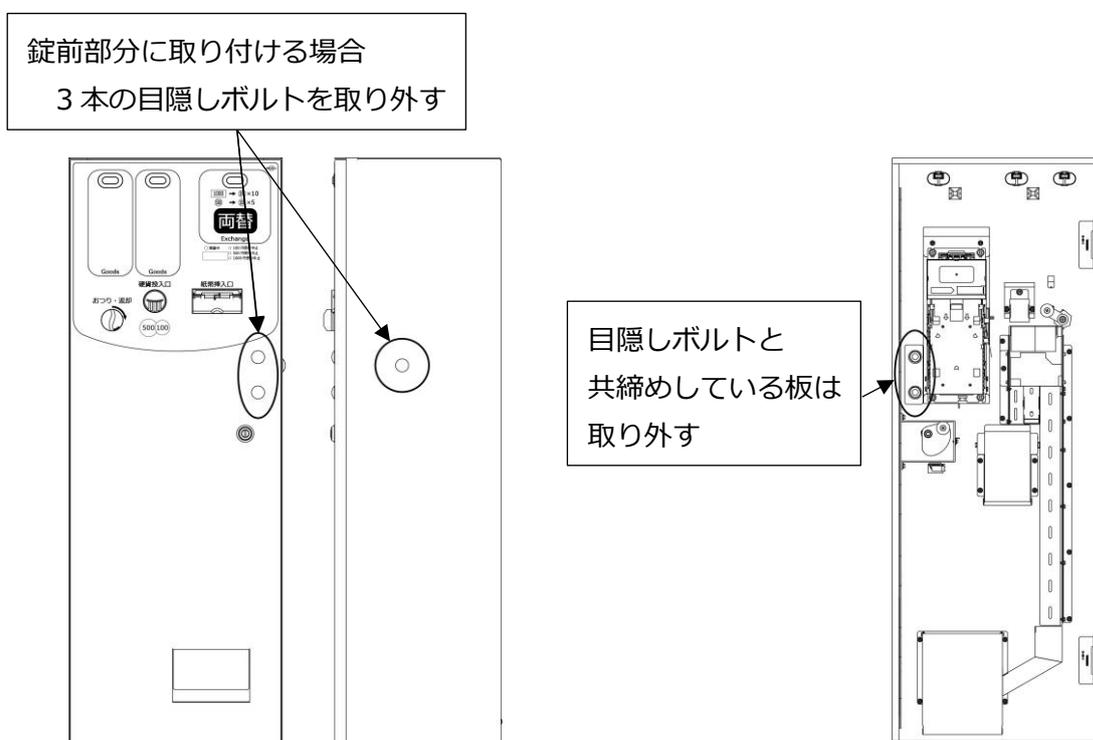
- 警報装置(別売)を使用する場合は、警報装置スイッチ用電池を取り付け、警報装置スイッチを上側にしてください。
- 防盜部材(別売)を使用する場合は、防盜部材取り付け穴を利用して取り付けてください。
- 防盜部材は適合品を取り付けてください。

適合品

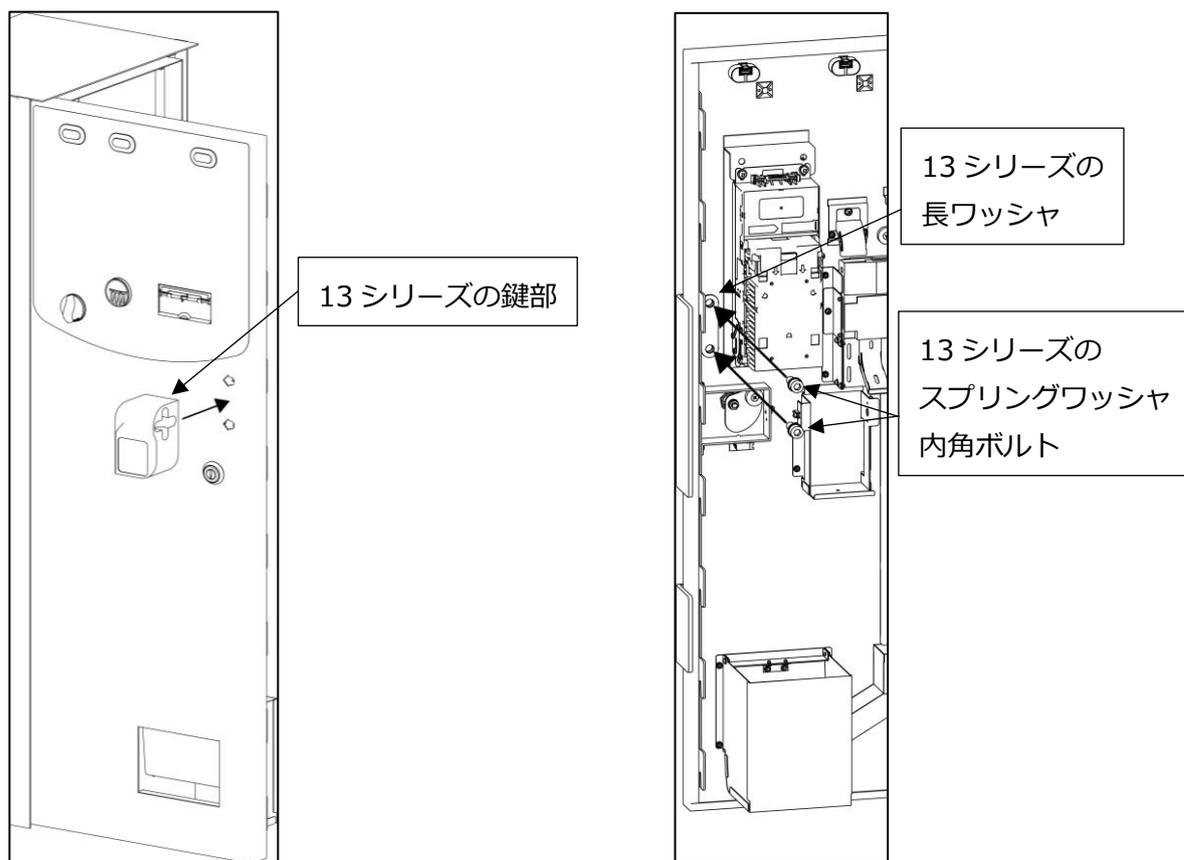
- ・株式会社多奈川商店製 13シリーズ(合金)右鍵用 0221(46-5[32cm])

●13シリーズ(合金)右鍵用の取り付け方法

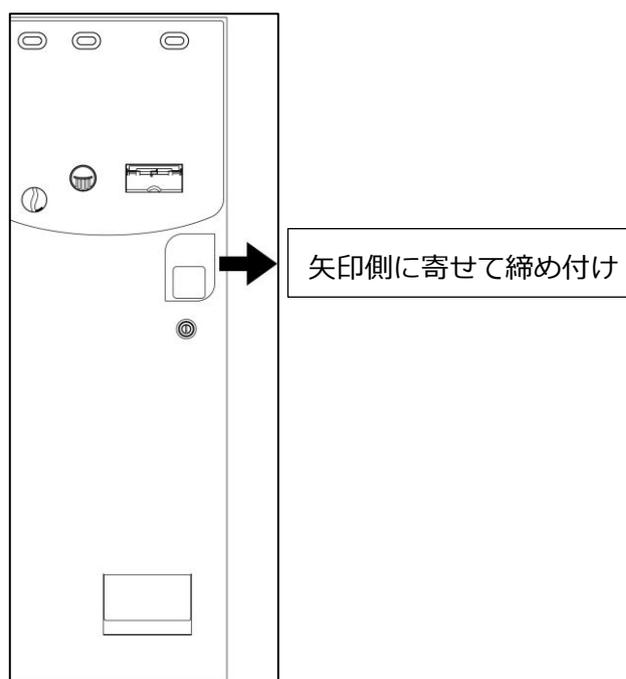
- ①防盜部材取り付け穴を目隠ししているボルトを取り外します。



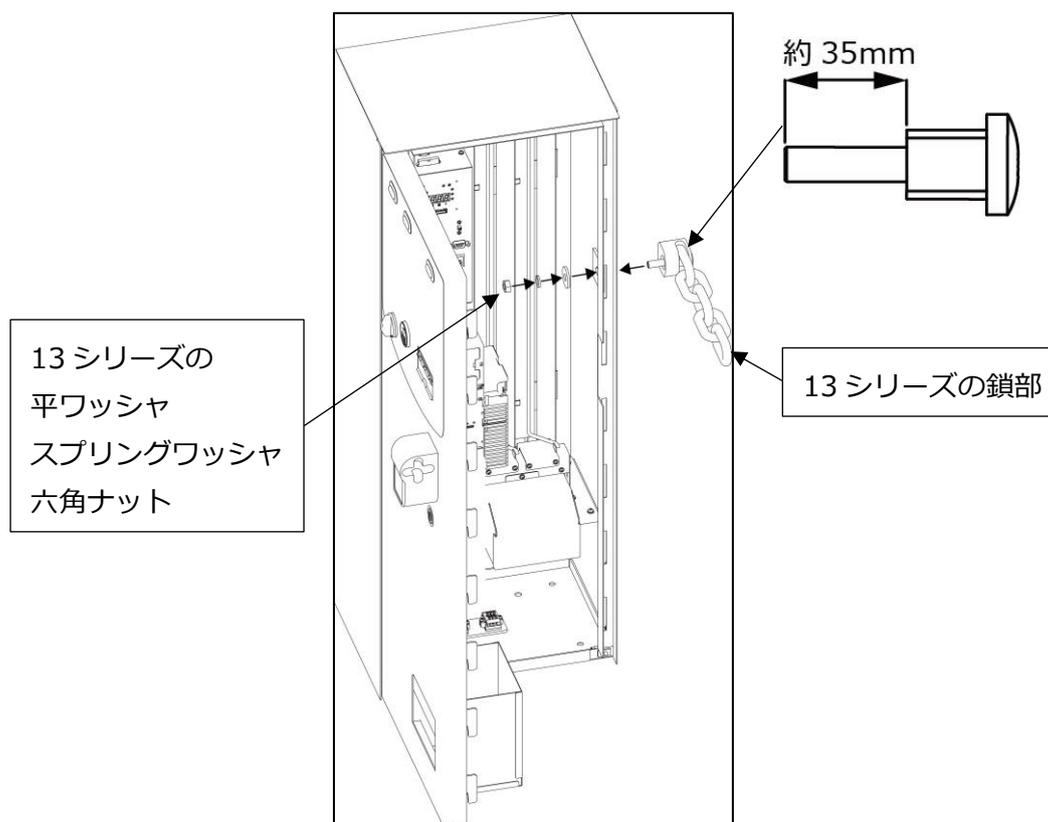
②13シリーズの鍵部を仮固定します。



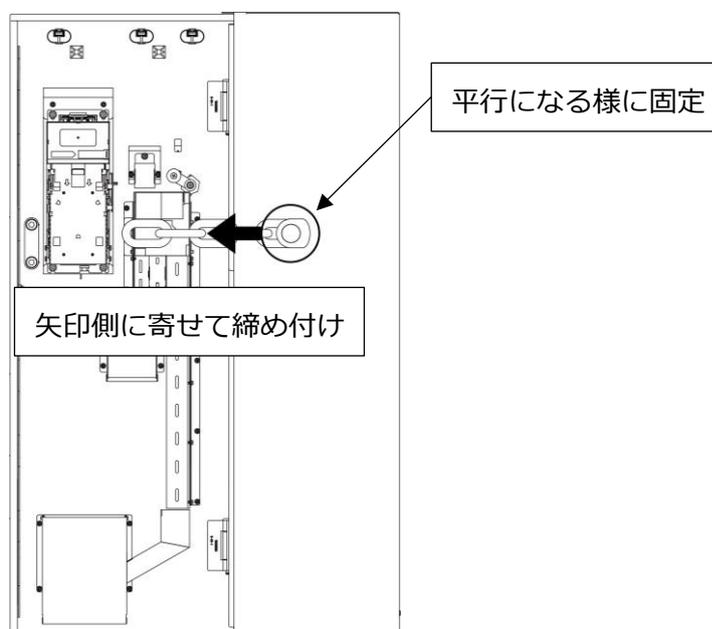
③仮固定した鍵部を下図の矢印側に寄せて、ボルトを締め付けます。



④本体側に 13 シリーズの鎖部を、仮固定します。ボルト部は約 35mm 出してください。



⑤仮固定した 13 シリーズの鎖部を、下図の矢印側に寄せてナットを締め付けます。



- ⑥扉を閉め、鎖を 13 シリーズの鍵部へ挿入し、鍵を閉めて完了です。
鎖の付属品カバーは任意で取り付けを行ってください。



3-6 外部パルス入力、警報装置出力

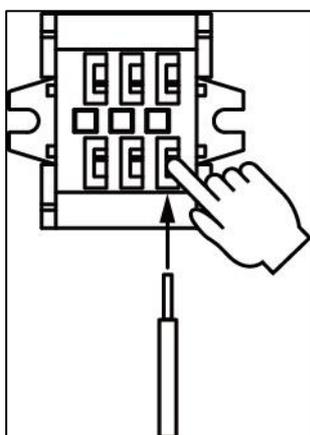
- 電線の先端の被覆は 10mm 程度剥がしてください。
- 下記の取り付け図を参照し、端子台上部の突起部分を押しながら電線の先端を奥まで挿し込み、突起部分を放して固定してください。
- A 接点で使用する場合は左側、B 接点で使用する場合は中央に挿し込みます。COM は必ず右側へ挿し込んでください。
- A 接点と B 接点は、同時に接続しないでください。

使用可能電線範囲

単線 $\varnothing 0.4\text{mm} \sim \varnothing 1.2\text{mm}$ (AWG26 \sim AWG16)

撚線 $0.3\text{mm}^2 \sim 1.25\text{mm}^2$ (AWG22 \sim AWG16)、素線径 $\varnothing 0.18\text{mm}$ 以上

取り付け図



3-7 外部通信

- 外部との通信を行う場合は、外部機器を外部通信用コネクタと接続し、通信を開始してください。

4 初期設定

電源を ON にすると出荷状態になっているので、下記の手順で初期設定を行ってください。



1. 本機の時計の設定

「9-2 メンテナンスモード」の「時計設定」(27 ページ)を参照して、本機の時計を確認、または設定してください。

2. 商品送り出し機の初期動作

商品を補充する前に「9-2 メンテナンスモード」の「商品送り出しテスト」(30 ページ)を参照して、2つの商品送り出し機を動作させてください。

3. 100 円硬貨の補充

硬貨払い出し機に 100 円硬貨を入れてください。

※硬貨払い出し機には、100 円硬貨以外の硬貨、および変形硬貨を入れないでください。

4. 商品の補充

商品収納部に商品を入れてください。

※商品制限金具に対応していない商品は補充しないでください。

※破損や蓋の開きなど変形した商品は補充しないでください。エラーの原因になります。

5. 更新操作

「9-1 通常モード」の「更新操作」(26 ページ)を参照して更新操作を行い、出荷状態を解除してください。

上記以外の項目は、必要に応じて変更、確認を行ってください。

これで初期設定は完了です。

5 両替動作

1. 営業中ランプ点灯時に 500 円硬貨、または 1000 円紙幣を入金します。
4 桁数値表示器に入金金額が表示され、両替ボタンが点灯します。
2. 両替ボタンを押します。
3. 100 円硬貨が 5 枚、または 10 枚出てきます。

※入金中に 10 秒間無操作だった場合は、自動で返却動作を行います。

※硬貨払い出し機内にある 100 円硬貨の状態によって、払い出し後に均し動作を行う事があります。

※一度に 1000 円を超える両替は出来ません。

※入金中に停電等で本機の電源が OFF になった場合は、入金された金額は消去されます。

6 販売動作

1. 営業中ランプ点灯時に 100 円硬貨、500 円硬貨、または 1000 円紙幣を入金します。
4 桁数値表示器に入金金額が表示され、購入可能な商品の販売ボタンが点灯します。
2. 購入したい商品の販売ボタンを押します。
3. 商品が出てきます。

※入金中に 10 秒間無操作だった場合は、自動で返却動作を行います。

※入金の上限金額は販売金額 1 または 2 の高額側までです。販売金額 1 および 2 が 1000 円未満の場合は 1000 円まで入金できます。

※上限金額までは追加で入金ができます。

※購入後に残金があり購入可能な商品があれば、販売ボタンが点灯し購入ができます。また「残金返却設定」(29 ページ)を参照し、購入後に返却動作を行う設定にできます。

※販売動作中に停電等により動作が中断された場合は、「9-2 メンテナンスモード」の「商品送り出しテスト」(30 ページ)を参照して、商品送り出し機の動作を確認してください。

※入金中に停電等で本機の電源が OFF になった場合は、入金された金額は消去されます。

7 返却動作

1. 残金がある状態で返却レバーを操作します。
2. 紙幣挿入口から 1000 円紙幣、商品取り出し口から 100 円硬貨を入金された金額分、返金します。

※1000 円紙幣が収金され返金不可能なら、100 円硬貨のみの返金になります。

8 その他動作

8-1 外部パルス

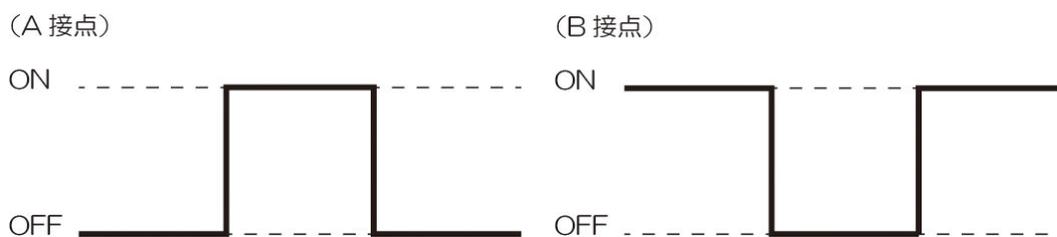
外部パルスを使用する場合は、入金していない状態で外部パルスを入力すると、1パルスにつき100円硬貨を1枚払い出します。

※硬貨払い出し機内にある100円硬貨の状態によって、払い出し後に均し動作を行うことがあります。

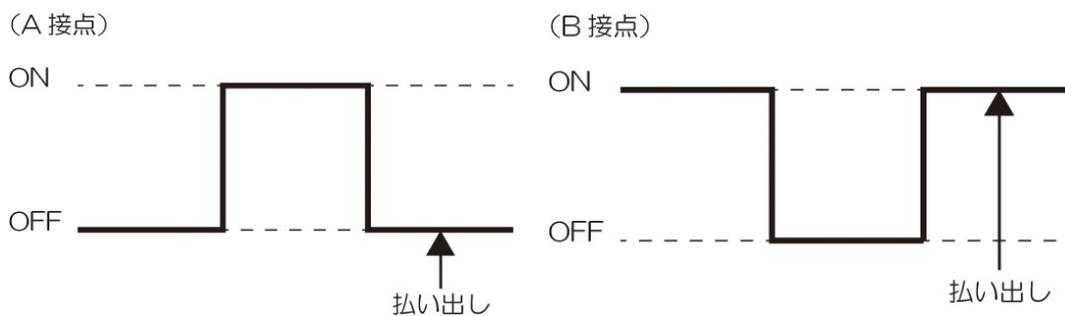
外部パルスの入力による硬貨払い出しは、エラーが発生している状態でも動作します。紙幣詰まりなどで紙幣の代替えとして払い出しを行う場合は、十分に注意して使用してください。

※設定エラー、硬貨切れ、硬貨払い出し機エラーが発生している状態では外部パルス入力による払い出しは行えません。

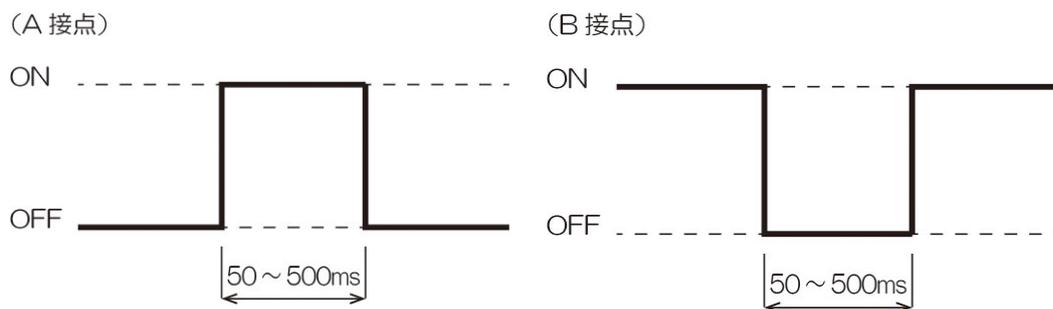
- 外部パルスの信号は、無電圧接点信号でA接点入力、またはB接点入力で接続します。



- 1パルスにつき1枚の硬貨を払い出します。

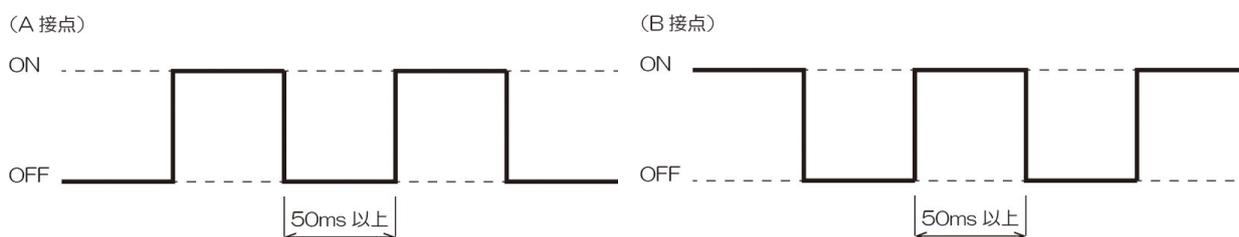


- 外部パルスの波形は 50~500ms の範囲で設定してください。

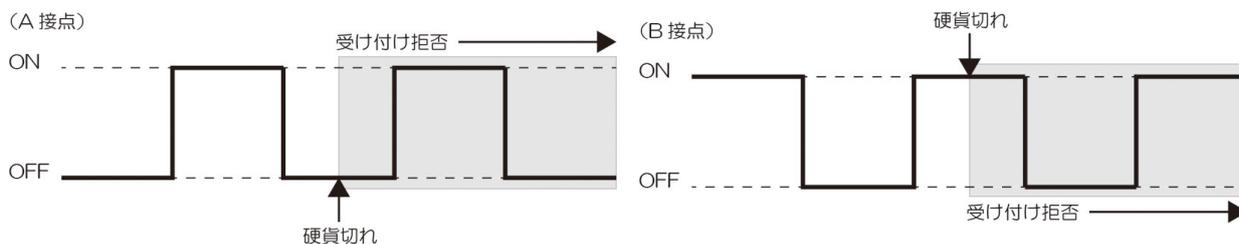


※50~500ms の信号であれば外部パルスとして認識し、払い出しを行います。

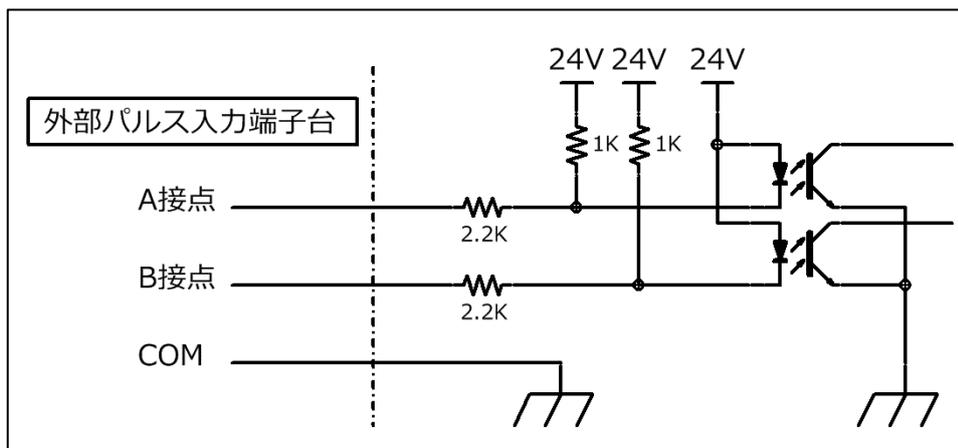
- 外部パルスを連続で入力する場合は、50ms 以上の間隔を開けてください。



- 外部パルスを連続で入力している際に硬貨切れが発生した場合、以降の外部パルスは受け付けません。

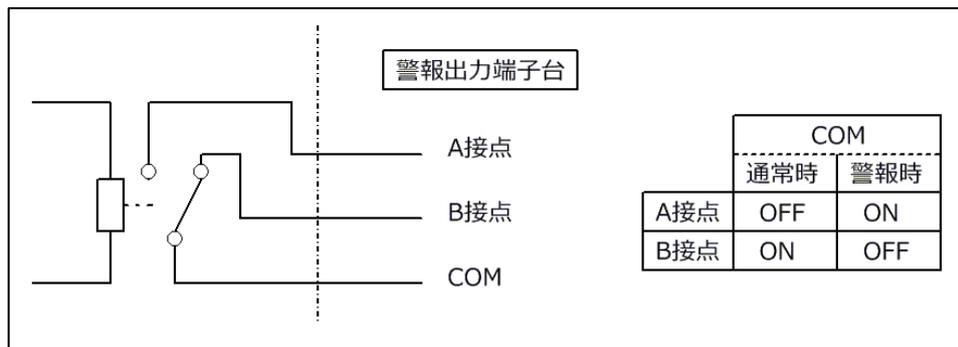


※入力回路は下図のようになります。



8-2 警報装置

扉こじあけが発生、および電源プラグが抜かれた場合、警報出力端子台側が下図のようになります。



定格負荷:DC24V 1A

※接続時には定格を超えないように注意してください。

9 モード

9-1 通常モード

電源を ON にすると通常モードになり、動作を開始します。

- ・エラー表示

入金していない状態で、営業中ランプ点滅時に MODE スイッチを押すと、発生しているエラーのエラーコードを表示します。

- ・印字操作

プリンター(別売)とケーブル(別売)を接続して、UP スイッチを押すと、販売回数や両替回数などを印字します。

印字内容

枚数確認	
期間	
20xx年xx月xx日xx時xx分	から
20xx年xx月xx日xx時xx分	まで
機械No	xx
両替	xxx回
販売	
商品1	xxx回 xxx個
商品2	xxx回 xxx個
入金	
100円	xxx枚
500円	xxx枚
1000円	xxx枚
返却	xxx回
100円払い出し	xxx枚
外部パルス	xxx回

- ・メンテナンスモードショートカット

よく使用する販売確認項目の操作ショートカットを設けています。

MODE スイッチを押すと C1、C2、C3、C4、通常モードの順で項目を移動し、該当項目で 1 秒待つと状態を確認できます。

10 秒以上操作を行わなければ通常モードに戻ります。

C1 : 100 円硬貨払い出し枚数表示 (期間データ)

C2 : 1000 円入金枚数表示 (期間データ)

C3 : 商品 1 販売個数表示 (期間データ)

C4 : 商品 2 販売個数表示 (期間データ)

- ・更新操作

SET スイッチを 2 秒間長押しで、出荷状態を解除します。

また、出荷状態解除後は印字内容の回数と各期間回数がリセットされます。

9-2 メンテナンスモード

MODE スイッチを押しながら電源を ON にするとメンテナンスモードになり、動作を開始します。メンテナンスモードでは、MODE スイッチで項目を移動し、SET スイッチで処理を開始します。

- 1 - (時計設定)

本機の時計を設定します。

年(西暦下 2 桁)月日時分を設定し、秒は設定後 0 秒になります。

Y. ※ ※ **M. ※ ※** **d. ※ ※** **H. ※ ※** **F. ※ ※**
年設定 月設定 日設定 時設定 分設定

- - - - **9000**
設定中 設定完了

- ・ MODE スイッチ:変更された値を設定後、モード選択へ戻ります。
- ・ UP スイッチ:設定値を加算します。また、1 秒間長押し後は連続で加算します。
- ・ SET スイッチ:年月日時分の順に項目を移動します。

※設定中表示は[-]が左から順番に表示されていきます。設定完了表示になるまでは、電源を OFF にしないでください。

- 2 - (機械No.設定)

印字する機械No.を設定します。

範囲:No.1～No.99

初期値:No.1

※ ※
機械No.設定中

- ・ MODE スイッチ:モード選択へ戻ります。
- ・ UP スイッチ:設定値を加算します。また、1 秒間長押し後は連続で加算します。
- ・ SET スイッチ:変更された設定値を保存します。

- 3 - (販売金額設定)

商品の販売金額を設定します。

範 囲:100 円～7000 円

初期値:100 円

! 2 ※※ 00

商品 1 選択 商品 2 選択 販売金額設定中

- ・ MODE スイッチ:モード選択へ戻ります。
設定中は商品番号選択へ戻ります。
- ・ UP スイッチ:設定する商品番号を選択します。
設定中は設定値を加算します。また、1 秒間長押し後は連続で加算します。
- ・ SET スイッチ:設定を開始します。
設定中は変更された設定値を保存します。

- 4 - (販売個数設定)

商品の 1 回毎に販売する個数を設定します。

範 囲:1 個～2 個

初期値:1 個

! 2 ※

商品 1 選択 商品 2 選択 販売個数設定中

- ・ MODE スイッチ:モード選択へ戻ります。
設定中は商品番号選択へ戻ります。
- ・ UP スイッチ:設定する商品番号を選択します。
設定中は設定値を加算します。
- ・ SET スイッチ:設定を開始します。
設定中は変更された設定値を保存します。

※商品 C タイプの 2 個販売は設定しないでください。エラーの原因になります。

- 5 - (残金返却設定)

商品販売後に残金を自動で返却するかどうかを設定します。

範 囲:OFF/ON

初期値:OFF(販売後の自動返却なし)

OFF ON

残金返却なし 残金返却あり

- ・ MODEスイッチ:モード選択へ戻ります。
- ・ UP スイッチ:OFF/ON を切り替えます。
- ・ SET スイッチ:変更された設定値を保存します。

- 6 - (入金テスト)

100 円硬貨、500 円硬貨、1000 円紙幣を入金し、正常に認識される事を確認します。

入金された硬貨、紙幣によって表示の値が加算されます。

0

入金金額

- ・ MODEスイッチ:モード選択へ戻ります。

- 7 - (硬貨払い出しテスト)

スイッチ、または外部パルス入力によって、100 円硬貨が正常に払い出される事を確認します。

0

払い出し枚数

- ・ MODEスイッチ:モード選択へ戻ります。
- ・ SET スイッチ:100 円硬貨を 1 枚払い出します。

 (商品送り出しテスト)

販売ボタンによって、商品送り出し機を動作させます。また商品が補充されていれば正常に送り出される事を確認します。


待機中 商品 1 選択 商品 2 選択

- ・ MODEスイッチ:モード選択へ戻ります。
- ・ 販売ボタン 1:商品 1 側の送り出し機を動作させます。
- ・ 販売ボタン 2:商品 2 側の送り出し機を動作させます。

 (両替回数表示)

両替された回数のトータル回数と期間回数を確認します。

範 囲:トータル回数 0 回~9999 回、期間回数 0 回~999 回


トータル回数 期間回数

- ・ MODEスイッチ:モード選択へ戻ります。
- ・ UP スイッチ:トータル回数、期間回数を切り替えます。

 (販売回数表示)

商品毎に販売された回数のトータル回数と期間回数を確認します。

範 囲:トータル回数 0 回~9999 回、期間回数 0 回~999 回


商品 1 選択 商品 2 選択 トータル回数 期間回数

- ・ MODEスイッチ:モード選択へ戻ります。
確認中は商品番号選択へ戻ります。
- ・ UP スイッチ:確認する商品番号を選択します。
確認中はトータル回数、期間回数を切り替えます。

- 1 1 - (販売個数表示)

商品毎に販売された個数のトータル個数と期間個数を確認します。

範 囲: トータル個数 0 個~9999 個、期間個数 0 個~999 個

商品 1 選択 商品 2 選択 トータル個数 期間個数

- ・ MODE スイッチ: モード選択へ戻ります。
確認中は商品番号選択へ戻ります。
- ・ UP スイッチ: 確認する商品番号を選択します。
確認中はトータル個数、期間個数を切り替えます。

- 1 2 - (つり銭返却回数表示)

つり銭が返却された回数のトータル回数と期間回数を確認します。

範 囲: トータル回数 0 回~9999 回、期間回数 0 回~999 回

トータル回数 期間回数

- ・ MODE スイッチ: モード選択へ戻ります。
- ・ UP スイッチ: トータル回数、期間回数を切り替えます。

- 1 3 - (入金枚数表示)

100 円硬貨、500 円硬貨、1000 円紙幣が入金された枚数のトータル枚数と期間枚数を確認します。

範 囲: トータル枚数 0 枚~9999 枚、期間枚数 0 枚~999 枚

100 円選択 500 円選択 1000 円選択 トータル枚数 期間枚数

- ・ MODE スイッチ: モード選択へ戻ります。
確認中は金種選択へ戻ります。
- ・ UP スイッチ: 確認する金種を選択します。
確認中はトータル枚数、期間枚数を切り替えます。

(100円硬貨払い出し枚数表示)

通常モード中に100円硬貨が払い出された枚数のトータル枚数と期間枚数を確認します。

範囲: トータル枚数 0枚~9999枚、期間枚数 0枚~999枚

トータル枚数 期間枚数

- ・MODEスイッチ: モード選択へ戻ります。
- ・UPスイッチ: トータル枚数、期間枚数を切り替えます。

(外部パルス入力回数表示)

外部パルスが入力された回数のトータル回数と期間回数を確認します。

範囲: トータル回数 0回~9999回、期間回数 0回~999回

トータル回数 期間回数

- ・MODEスイッチ: モード選択へ戻ります。
- ・UPスイッチ: トータル回数、期間回数を切り替えます。

(エラー表示設定)

エラー発生時に、エラー表示ありで本機の動作を停止するか、正常な機器があればエラー表示なしで動作を継続するかを設定します。

範囲: OFF/ON

初期値: ON(エラー表示で停止)

エラー表示なし エラー表示あり

- ・MODEスイッチ: モード選択へ戻ります。
- ・UPスイッチ: OFF/ON を切り替えます。
- ・SETスイッチ: 変更された設定値を保存します。

(硬貨回収)

硬貨払い出し機内の 100 円硬貨をすべて払い出します。

払い出し枚数

- ・ MODE スイッチ: モード選択へ戻ります。
- ・ SET スイッチ: 1 秒間長押しで硬貨の回収(1000 枚単位で自動停止)を開始します。
硬貨回収中は停止します。

(売上払い出し)

販売した商品 1 と商品 2 の合計売上金額を 100 円硬貨で払い出します。

(下図は合計売上金額が 2000 円だった場合)

売上払い出し枚数

- ・ MODE スイッチ: モード選択へ戻ります。
- ・ SET スイッチ: 1 秒間長押しで硬貨の払い出し(1000 枚以上なら 1000 枚単位で自動停止)を開始します。
売上払い出し中は停止します。

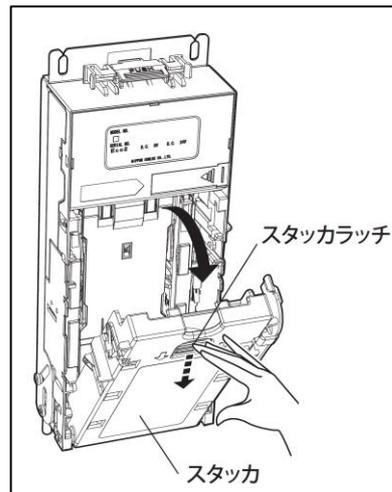
※販売していない場合は払い出しできません。

※硬貨の払い出しを行っている最中は、本機の電源を OFF にしないでください。

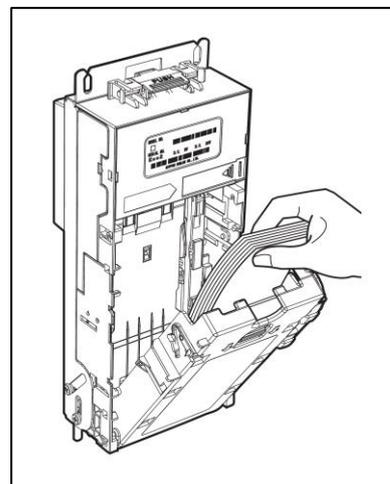
10 日常のお手入れ

10-1 紙幣回収

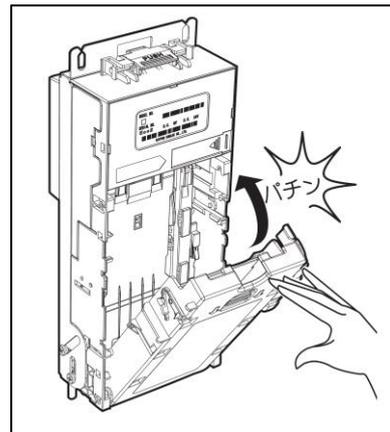
1. スタッカラッチを押し下げスタッカを手前に開きます。



2. 紙幣を取り出します。紙幣は必ず全て回収してください。



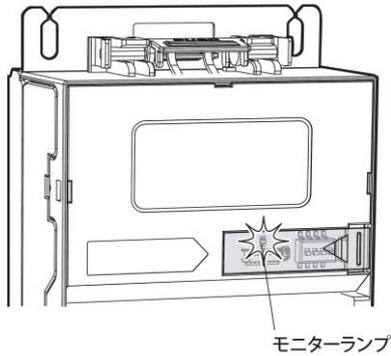
3. スタッカを戻すときは、スタッカラッチが“パチン”と音がするところまで押し込んでください。



10-2 紙幣識別機の清掃

紙幣識別機の識別部(通路部も含む)は、紙幣、ほこり、水ぬれ、異物の付着などで汚れてきます。汚れがひどくなるとモニターランプが点滅しますのでセンサーを清掃してください。また、1~3ヶ月ぐらいに1度、必要に応じて清掃してください。

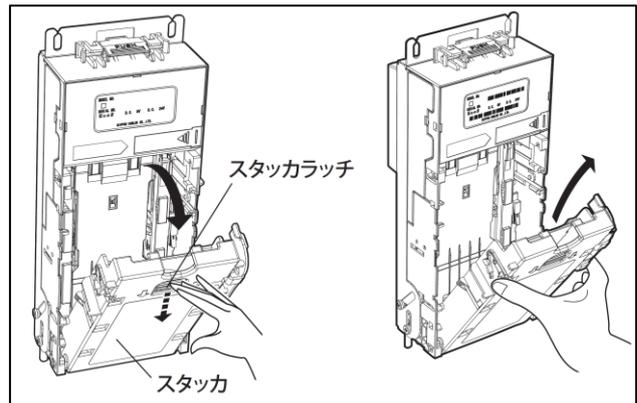
※モニターランプは、識別センサーの汚れにより清掃が必要なとき、0.5秒間隔で点滅します。



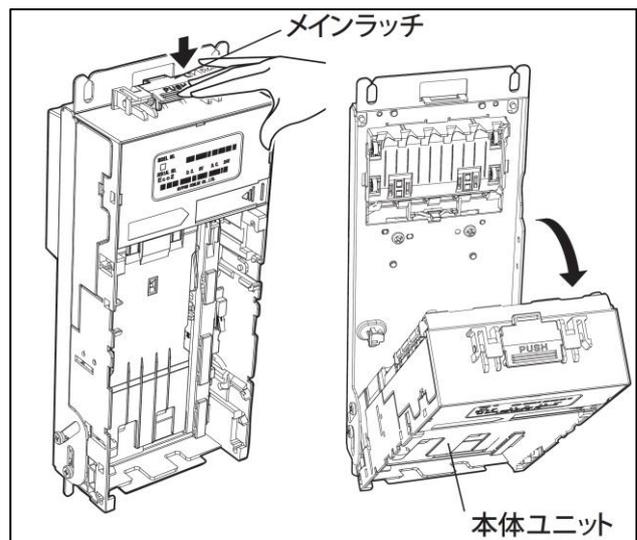
モニターランプの表示内容

状態 \ 色	赤	緑
消灯	正常	正常
点灯	異常	点検
点滅	センサー汚れ	-

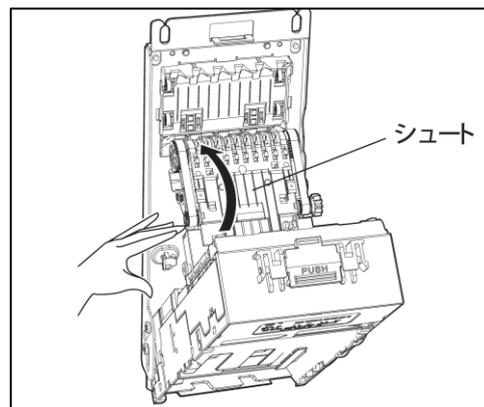
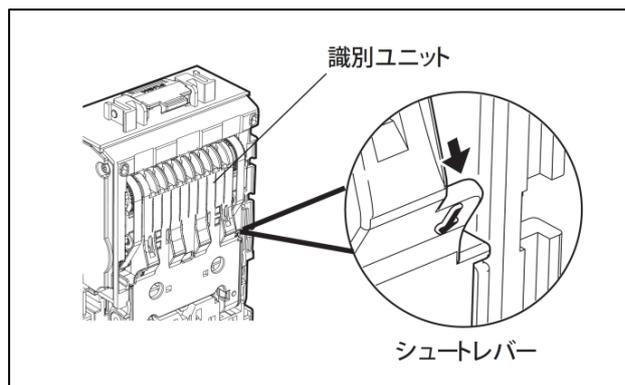
1. スタッカラッチを押し下げ、スタッカを開き、外します。



2. メインラッチを押し下げ、本体ユニットを開きます。

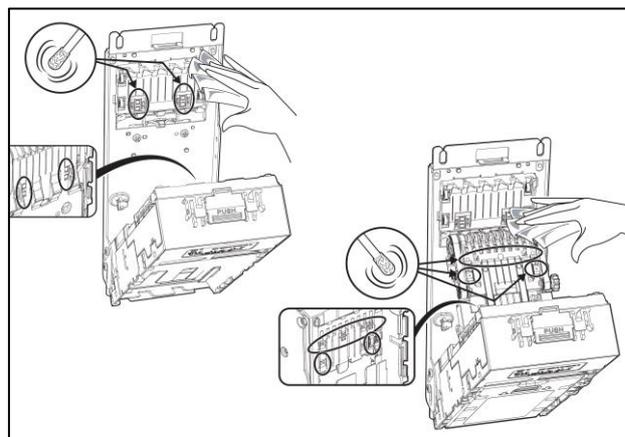


3. 識別ユニットの矢印部分のレバーで、シュートを開いてください。

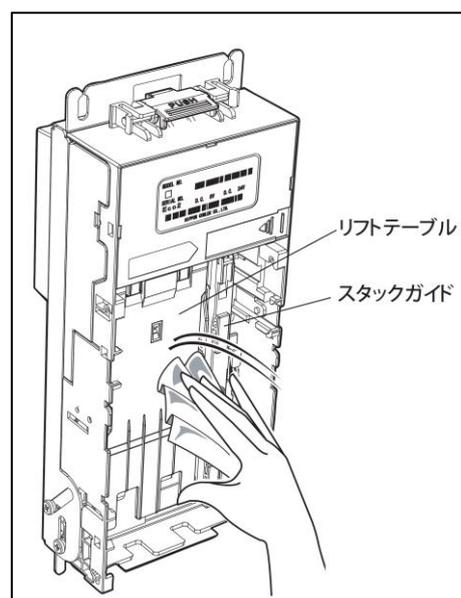
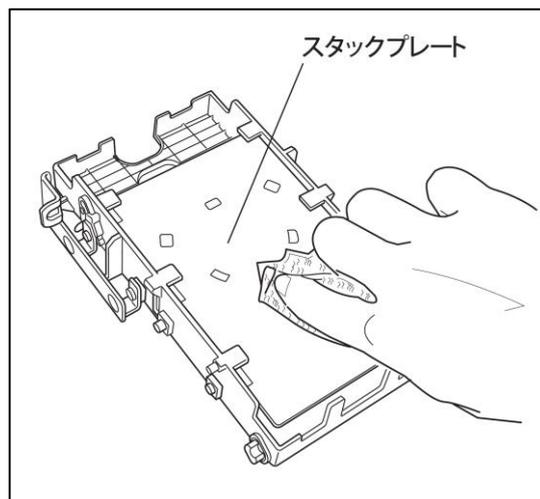


4. 紙幣通路部の汚れは柔らかい布で拭き取ってください。またシュート、ローラ、ベルトなどの汚れを拭き取ってください。

※センサー類を清掃するとき、キズを付けないように十分注意してください。



5. リフトテーブル、スタックガイド、スタックプレートなどの汚れを柔らかい布や綿棒で拭き取ってください。



※紙幣挿入口は綿棒などで清掃してください。

※汚れが取れにくいときは、固くしぼった柔らかい布などで拭き取ってください。

※搬送ベルトには、ベンジン・シンナーなどは絶対使用しないでください。

10-3 警報装置スイッチ用電池交換

警報装置(別売)を使用する場合は、警報装置スイッチ用電池が必要です。

警報装置スイッチ用電池は、1年毎、または電池残量チェックスイッチを押して赤色LEDの発光が暗く感じたら電池を交換してください。

電池の品名:マンガン乾電池(積層形)

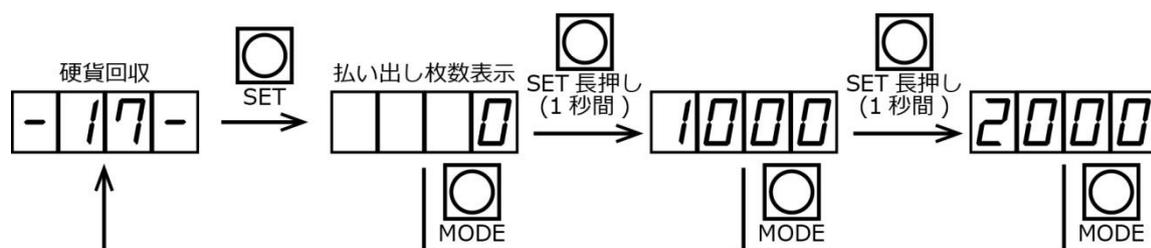
電池の型式:006P形

電池の電圧:9V形

10-4 硬貨の回収方法

硬貨払い出し機内の硬貨をすべて払い出すには、硬貨回収を行います。

1.  (MODEスイッチ)を押しながら電源をONにし、メンテナンスモードに入ります。
2. メンテナンスモードの硬貨回収を表示させます。
3. SETスイッチを押して、払い出し枚数表示にします。
4. 払い出し枚数表示でSETスイッチを1秒間長押しします。
5. 硬貨回収が開始されます。

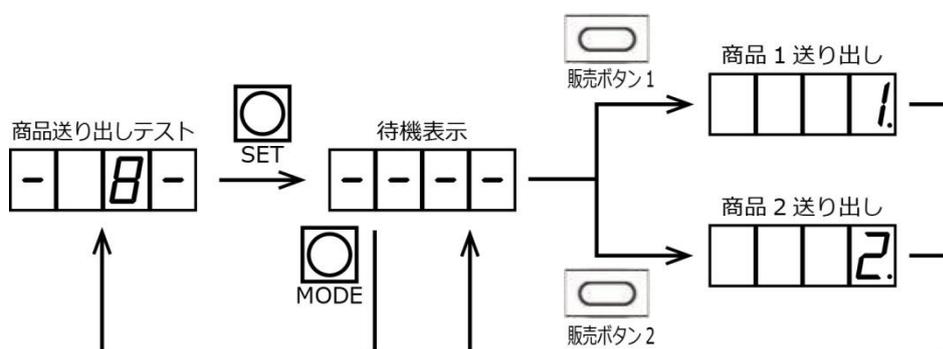


※硬貨回収は1000枚払い出し毎、またはSETスイッチを押すと停止します。

10-5 商品の送り出し確認

商品を補充した後は、商品送り出しテストで商品が正常に送り出される事を確認してください。

1.  (MODEスイッチ)を押しながら電源をONにし、メンテナンスモードに入ります。
2. メンテナンスモードの商品送り出しテストを表示させます。
3. SETスイッチを押して、待機表示にします。
4. 待機表示で販売ボタン1、または販売ボタン2を押します。
5. 押した販売ボタン側の商品が送り出されます。



※商品が入っていない状態でも、販売ボタンを押すと動作します。

11 エラー

エラーコード	エラー名	エラー要因
E-01	設定エラー	設定値の読み書きに失敗しました。 電源を OFF にし、しばらく待ってから再度 ON にしてください。
E-02	時計エラー	時間の読み込みに失敗しました。 メンテナンスモードで時計設定を行ってください。
E-03	扉こじ開け※1	錠前が閉められた状態で前面扉が開いています。 前面扉を正しく閉じてから錠前を閉めてください。
E-04	紙幣識別機コネクタ抜け	紙幣識別機のコネクタが抜けています。 販売店までご連絡ください。
E-05	硬貨選別機コネクタ抜け	硬貨選別機のコネクタが抜けています。 販売店までご連絡ください。
E-06	紙幣満タン	紙幣が満タンになっています。 紙幣を回収してください。
E-07	紙幣識別機エラー	紙幣識別機が通常動作を行えない状態です。 紙幣識別機の可動部を正常な位置にしてください。
E-08	500 円硬貨満タン	500 円硬貨が満タンになっています。 500 円硬貨を回収してください。
E-09	硬貨選別機エラー	硬貨選別機が通常動作を行えない状態です。 返却レバーを正常な位置にしてください。
E-10	硬貨切れ	硬貨払い出し機内に 100 円硬貨がない状態です。 100 円硬貨を補充してください。
E-11	硬貨払い出し機エラー または メンテナンスコール	払い出し動作で 100 円硬貨が払い出されませんでした。 電源を OFF にし、硬貨払い出し部の詰まりや回転盤上部の空洞などを解消後、再度 ON にしてください。 上記を解消してもエラーが出る場合は、硬貨払い出し機のメンテナンスを販売店までご依頼ください。

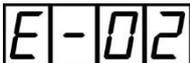
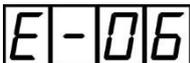
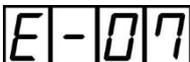
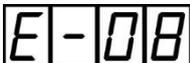
エラーコード	エラー名	エラー要因
E-12	商品売り切れ※2	商品 1、商品 2 がない状態です。 商品を補充してください。
E-13	商品送り出し機エラー※3	商品送り出し機が通常動作を行えない状態です。 販売店までご連絡ください。

※上記対処を行っても復旧しない場合は、販売店までご連絡ください。

- ※1 警報装置スイッチ用電池を取り付け、警報装置スイッチが上側の状態が表示されます。
- ※2 商品送り出しテスト時に表示されます。通常動作時には表示されません。
- ※3 通常動作時は、5 秒経過後に営業中ランプが点滅に変わり、両替動作のみ継続できます。
商品送り出しテスト時は、エラーコードから変化しません。

●エラーコードの表示について

「9-2 メンテナンスモード」の「エラー表示設定」(32 ページ)により、発生したエラーによっては、5 秒経過後にエラーコードが消え、可能な動作を継続します。この時、営業中ランプは点滅します。また、複数のエラーが発生し、100 円、500 円、1000 円すべてが入金禁止になった場合は、エラーコードを表示し、動作を停止します。

エラーコード	エラー表示設定	本機の状態
 (設定エラー)	あり	エラーコードを表示し、動作停止
 (時計エラー)		
 (扉こじ開け)	なし	エラーコードを表示し、動作停止
 (硬貨払い出し機エラー) または メンテナンスコール		
 (紙幣識別機コネクタ抜け)	あり	エラーコードを表示し、動作停止
 (紙幣満タン)		
 (紙幣識別機エラー)	なし	1000 円が入金禁止になり、動作継続
 (硬貨選別機コネクタ抜け)	あり	エラーコードを表示し、動作停止
 (硬貨選別機エラー)	なし	100 円、500 円が入金禁止になり、動作継続
 (500 円硬貨満タン)	あり	エラーコードを表示し、動作停止
	なし	500 円が入金禁止になり、動作継続
 (硬貨切れ)	あり	エラーコードを表示し、動作停止
	なし	500 円、1000 円が入金禁止になり、動作継続
 (商品送り出し機エラー)	あり	エラーコードを表示し、動作停止
	なし	100 円が入金禁止になり、動作継続

12 製品仕様

項目	内容
対応金種	100 円硬貨、500 円硬貨、1000 円紙幣
硬貨収納枚数	100 円硬貨:3000 枚(硬貨払い出し機に収納) 500 円硬貨:150 枚(硬貨収納箱に収納) ※500 円硬貨は、重なり方によって収納枚数が増減する事があります。
紙幣収納枚数	1000 円紙幣:430 枚±50 枚(官封紙幣) ※流通紙幣の場合、収納枚数が減少する事があります。
表示	4 桁数値表示器:7 セグメント LED 営業中ランプ:緑 LED 100 円、500 円、1000 円入金禁止ランプ:赤 LED 販売ボタン 1、販売ボタン 2、両替ボタン:照光式ボタン
回数管理	両替回数、商品 1 販売回数、商品 2 販売回数、商品 1 送り出し個数、商品 2 送り出し個数、つり銭返却回数、100 円硬貨入金枚数、500 円硬貨入金枚数、1000 円紙幣入金枚数、100 円硬貨払い出し枚数、外部パルス入力回数 ※トータル回数:リセットなし 4 桁 期間回数:リセットあり 3 桁
品種数	2 品種
商品サイズ、収納数	A タイプ:55×23×102(mm)30 個[個別重量 30g 以上、総重量 900g 以下] B タイプ:50×17×70(mm)40 個[個別重量 14g 以上、総重量 900g 以下] C タイプ:55×32×102(mm)22 個[個別重量 40g 以上、総重量 900g 以下] ※個別重量が上記に満たない場合は、残量が少なくなると搬出されない場合があります。 ※商品制限金具に対応していない商品は補充しないでください。 ※破損や蓋の開きなど変形した商品は補充しないでください。 ※商品の重心を中心以外にしないでください。 エラーの原因になります。
販売金額	100 円～7000 円(100 円単位)
販売個数	1 個～2 個(1 回販売あたり) ※商品 C タイプの 2 個販売は設定しないでください。 エラーの原因になります。
両替能力	500 円硬貨:100 円硬貨×5 枚 1000 円紙幣:100 円硬貨×10 枚 ※一度に 1000 円以上の両替は出来ません。
返金機能	1000 円紙幣、および 100 円硬貨にて返金 ※1000 円紙幣が収金済みの場合、100 円硬貨のみの返金になります。
外部パルス	1 パルスにつき 100 円硬貨払い出し A 接点入力、または B 接点入力 入力幅:50～500ms

項目	内容
印字機能	期間回数の印字動作 ※印字に使用するプリンターとケーブルは別売になります。
警報装置	DC出力 C接点 定格負荷 DC24V 1A
時計精度	月差 60秒以内
停電保証	大容量コンデンサーによる時計値記憶 停電後 1週間(フル充電状態にて)
使用環境	屋内専用 温度 5~45℃ 湿度 30~90%(結露なき事)
設置方法	自立式(アンカーボルト固定)
外形寸法	本体 360mm(W)×1000mm(H)×280mm(D) ^{※1} 架台 360mm(W)×500mm(H)×280mm(D)
重量	本体 約 40kg 架台 約 13kg
電源	AC100V 50/60Hz
電源変動許容範囲	AC100V±10V
消費電力	待機時 12W 動作時 23W
絶縁抵抗	DC500V、50MΩ以上
耐電圧	AC1000V/1分間(充電部-非充電部)
静電気耐力	8KV以上(IEC 61000-4-2 準拠)
耐ノイズ	モード ノーマルモード、コモンモード パルス幅 1μSec パルス高 ±1200V 位相 0~360° 3分間重畳し誤動作なき事

※1 突起部分は含みません。

13 保証規定

当社製品をご注文いただく際、見積書、契約書、仕様書などに特記事項のない場合には、次の保証内容、免責事項、適合用途の条件等を適用いたします。下記内容をご確認いただき、ご承認のうえご注文をお願い致します。

1)保証内容

－保証期間

当社製品の保証期間は、ご購入後またはご指定の場所に納入後1年といたします。

－保証範囲

上記保証期間中に当社側の責により当社製品に故障を生じた場合は、代替品の提供、または故障品の修理対応を、当社社内において無償で実施いたします。

ただし、故障の原因が次に該当する場合は、この保証の対象範囲から除外いたします。

- a)取扱説明書または仕様書などに記載されている以外の条件・環境・取り扱い・使用方法による場合
- b)当社製品以外の原因の場合
- c)当社以外による改造または修理による場合
- d)当社製品本来の使い方以外の使用による場合
- e)その他、天災、災害など当社側の責ではない原因による場合

なお、ここでの保証は、当社製品単体の保証を意味するもので、当社製品の故障により誘発される損害は保証の対象から除かれるものとします。

2)責任の制限

当社製品に起因して生じた特別損害、間接損害、または消極損害に関しては、当社はいかなる場合も責任を負いません。

プログラミング可能な当社製品については当社以外の者が行ったプログラム、またはそれにより生じた結果について当社は責任を負いません。

3)サービスの範囲

当社製品の価格には、技術者派遣などのサービス費用は含まれておりません。

お客様のご要望がございましたら、当社営業担当者までご相談ください。

4)適用範囲

以上の内容は、日本国内での取引および使用を前提としております。

日本国外での取引、および使用に関しては、当社営業担当者までご相談ください。

以上